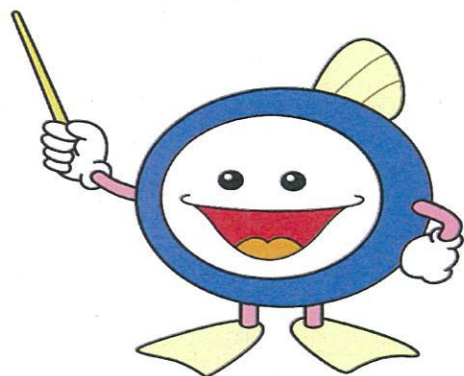


新中野・明野地区 今後の下水処理施設の運営【料金改定】について 【詳細版】

～下水道事業を安定して次世代に引き継ぐため～



下水道マスコットキャラクター
「スイスイ」

令和2年12月28日 安全安心課 下水道係

もくじ

はじめに

- 新中野・明野エリアの下水事業の概要 ……③
下水道使用料改定に関する住民説明会の開催報告
(平成30年度) ……④

現状

- 新中野処理場・明野浄化センター施設の老朽化 ……⑤
マンホール・管渠の老朽化 ……⑥
財政状況の悪化 ……⑦
下水道使用料の他市町村との比較 ……⑧

課題

- 新中野処理場・明野浄化センターの建替え・修繕費用 ……⑨
人口減少に伴う下水道(使用料)収入の減少…⑩

解決策

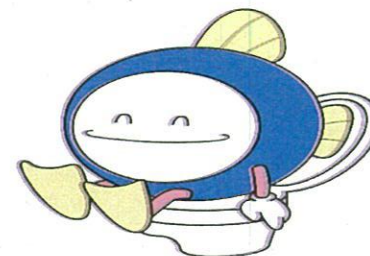
- 公共下水道編入による下水道使用料改定【値上げ】 ……⑪
公共下水道編入による経費の削減 ……⑫

今後について

- 下水道使用料改定【値上げ】のスケジュール ……⑬
公共下水道接続について ……⑭

その他・お問い合わせ先

- …⑮



はじめに ～新中野・明野エリア下水道事業の概要～

コミュニティプラント・・・下水道区域以外の住宅団地等から排出される、し尿と生活雑排水を集合処理するために市町村が管理する地域し尿処理施設で
邑楽町では新中野・明野エリアのみとなります。

- ・ 新中野下水処理場：邑楽町大字新中野122番地【ティーズスポーツプラザの北の方】
- ・ 明野浄化センター：邑楽町大字明野32番地の6【明野公園のすぐ西側】

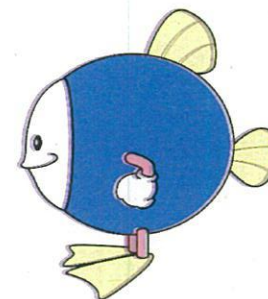


新中野処理場



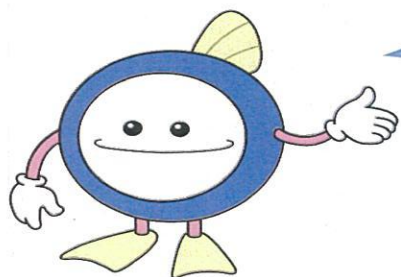
明野浄化センター

邑楽町には、コミュニティプラント施設が2か所あるんだね！



はじめに ～過去3回開催した下水道使用料改定についての住民説明会開催報告～

日時	時間	場所
平成30年3月22日(木)	午後7時～	邑楽町役場3階 大会議室
平成30年11月25日(日)	午前10時～	邑楽町立集会所
	午後1時～	明野公民館



お忙しい中、説明会に御参加いただきありがとうございました！

現状 ～新中野処理場・明野浄化センター施設の老朽化～

新中野処理場は昭和49年、明野浄化センターは昭和63年に供用を開始し、各施設は耐用年数の30年を経過し、施設の老朽化が目立ち更新工事が増えている。



【左上の写真】

新中野処理場の機械室内の内壁です。錆ていたり、そこがはがれていたり、建物自体の劣化も目立ちます。

【右上の写真】

明野浄化センター内にある流入室の天井も所々天井がはがれ落ちていて、中の鉄筋がむき出しになってしまっています。



【左下の写真】

新中野処理場にある、原水槽という汚泥がたまっている槽から調整槽という汚泥の量などを調整して処理を進めていく槽につなぐ管はさび付いており、特に先端は腐食が進んでしまってヒビがはいっています。

【右下の写真】

明野浄化センター内にある非常用発電機は、1987年製造、33年経過、部品の製造は終了。年数の経過により、現在自動では動かず、手動でスイッチをいれるかたちとなっています。



処理場は古くて壁が劣化しているし、非常用発電機は自動で作動出来ない状態なんだね。



現状 ～マンホール・管渠の老朽化～

- ・【マンホール】 耐用年数を超えて設置されています。新中野のマンホールは約190箇所、明野のマンホール約160箇所あり、その蓋をすべて交換すると1億500万円以上の費用が必要となります。



標準耐用年数 車道部15年・歩道部30年 両地区のマンホール蓋はほぼすべての蓋が標準耐用年数を超えています。交換には概算で1枚あたり30～40万円の費用が必要とされています。

- ・【管渠】 下水道管のTVカメラ調査では、管渠の一部で腐食がある箇所が見受けられました。

【左下の写真】



マンホールの壁が経年劣化により、崩れてしまった状況です。応急処置としてコンクリートを詰めてあります。



マンホールの蓋は錆びているね！全部交換するとなるとお金がたくさんかかって大変だね。



現状 ～財政状況の悪化～

本来、コミュニティプラント(下水道)使用料の経営は税金ではなく、使用者からの使用料で賄うことが原則となります。しかし、邑楽町では、汚水処理・維持管理・下水道整備費に伴う不足分を税金から賄っていました。この税金の中には新中野・明野地区のコミュニティプラント(下水道)区域以外の方々の税金も含まれているため、税の公平性を欠くこととなります。一般会計の財政を圧迫する要因にもなっております。

年度	歳入	歳出	差額
H12	17,418,050	27,199,532	-9,781,482
H13	17,635,430	24,050,264	-6,414,834
H14	17,190,120	24,646,778	-7,456,658
H15	16,409,600	25,762,230	-9,352,630
H16	16,688,710	26,478,033	-9,789,323
H17	16,875,730	50,189,169	-33,313,439
H18	16,736,490	30,945,185	-14,208,695
H19	16,331,780	30,850,829	-14,519,049
H20	15,517,420	35,984,829	-20,467,409
H21	15,299,150	32,121,063	-16,821,913
H22	14,937,640	30,719,945	-15,782,305
H23	14,930,990	40,755,996	-25,825,006
H24	14,171,370	48,084,925	-33,913,555
H25	20,113,840	53,671,623	-33,557,783
H26	19,933,410	50,134,634	-30,201,224
H27	19,900,500	53,245,059	-33,344,559
H28	24,153,500	37,687,431	-13,533,931
H29	24,365,770	47,686,986	-23,321,216
H30	24,172,790	29,743,200	-5,570,410
H31	23,699,940	42,686,584	-18,986,644
			-376,162,065

平成12年度からの新中野・明野地区の下水道処理を行うための歳入(収入)と歳出(支出)です。

20年間で約3億7千万円の赤字です。

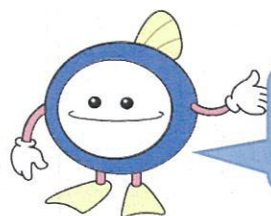
平成31年度決算で約23,700千円の歳入に対し約42,700千円の歳出でした。歳出のうち維持管理にかかる費用が約22,000千円でした。



使用料(歳入)だけでは維持管理しかまかなえず、施設の更新・修繕はコミュニティプラント区域外の住民の方の税金などで補っている状態です。

平成31年度コミュニティプラント(下水道)決算
歳出(支出)の内、固定費の金額(工事費・修繕費は含まない)

	新中野	明野	合計
光熱水費	2,904,041	3,631,657	6,535,698
電話代	37,302	34,052	71,354
建物災害共済	60,423	44,894	105,317
下水道管保険料	3,280	2,050	5,330
電気保安全管理	111,180	117,720	228,900
維持管理委託費	3,649,320	3,165,360	6,814,680
汚泥運搬手数料	2,654,496	4,290,624	6,945,120
使用料徴収事務手数料	791,522	807,783	1,599,305
合計	10,211,564	12,094,140	22,305,704



新中野・明野地区の下水処理施設については、維持管理しか行えず、施設の修繕や改築が難しい状況なんだね。

現状 ～下水処理使用料の他市町村との比較～

【コミュニティプラントと公共下水道の1ヶ月あたりの基本料金の比較】

新中野・明野コミュニティプラントエリア(新中野・明野)

公共下水道エリア
(中野・光善寺)

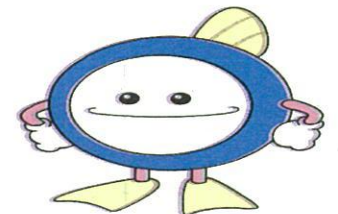
	コミュニティプラント基本料金	公共下水道基本料金	差額
邑楽町	<u>500</u>	<u>1,430</u>	930
千代田町	1,375	1,375	0
館林市	1,100	1,100	0
桐生市	1,100	1,100	0
大泉町	—	2,090	—

(参考:近隣市町より)

県内で両方の事業を実施している市町村のなかで基本料金に違いがあるのは邑楽町だけで、同じ町内で約2.8倍の基本料金の差がある市町村はありません。町内で同じような下水処理を行っていながら基本料金に大きな差があります。

H30年3月の説明会の時に桐生市内では、コミュニティプラント地区と公共下水道地区で料金の差があると説明しましたが、使用料金が改定されて同じ金額になりました。

邑楽町だけ公共下水道よりもコミュニティプラントの料金が、
すごく安い料金なんだね！



課題 ～新中野処理場・明野浄化センターの建替え・修繕費用～

【処理場を修繕した場合】

処理場で修繕や交換が必要、もしくは近いうちに必要となってくるものとしては、外壁等の躯体そのものや、槽と槽をつなぐ管、機械室や発電機、キュービクルなどがあげられます。処理場の耐用年数が30年とされているので、排水処理を行っている他の機器も修繕や交換が必要となってきます。

これらを全て交換、修繕するとなると建て替えたときほぼ同様の料金がかかることになります。

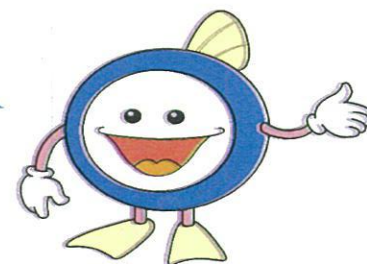
【処理場を建替えた場合】

「未普及地域における効率的な下水道整備の在り方に関する研究」によると、両施設とも約5億円前後の建築費が必要になります。新中野・明野を処理場ひとつに統合したとしても、6～7億円の建築費及び統合した処理場までの管渠整備に2～3億円が必要となります。もし、建替をしたと想定すると約10億円の費用が必要となり、これを耐用年数30年で皆様に負担いただくと毎年3,333万円が新たに必要になります。これを使用料金に転嫁すると約2.3倍の使用料金になります。これは処理場の建替や長寿命化の費用だけで機器の更新・修繕、下水道管の修繕は含まれておりません。

これらを使用料金に転嫁すると・・・おそらく公共下水道料金よりも高額になります。

【課題】

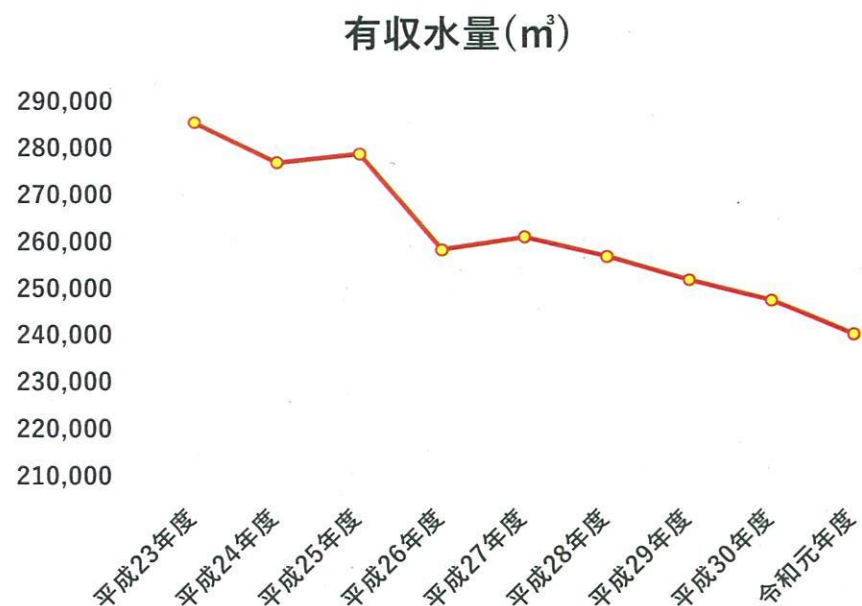
今のコミュニティプラントの料金設定だと、施設の修繕等が使用料金だけではまかなえないんだね。



課題 ～人口減少に伴う下水道（使用料金）収入の減少～

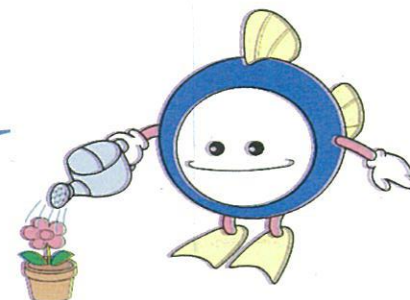
現在、日本では人口減少が進んでいます。新中野・明野地区の人口は、横ばいか若干の減少ですが、新中野・明野地区の有収水量（ m^3 ）は下記のグラフのとおり、今後は減少していくのが明らかなです。

また、近年は様々な節水機器の導入により有収水量は減少してきています。そのため下水道（使用料金）収入も連動して今後、減少していくことが見込まれます。



年度	有収水量(m3)
平成23年度	285,048
平成24年度	276,502
平成25年度	278,353
平成26年度	258,070
平成27年度	260,825
平成28年度	256,714
平成29年度	251,723
平成30年度	247,427
令和元年度	240,157

人口が減ると下水道収入も減っちゃうんだね！



解決策 ～公共下水道編入による下水道使用料の改定（値上げ）～

新旧下水道料金表1ヶ月あたり

【旧料金表】基本使用料（基本汚水量10m³まで）+超過分（1m³110円）

基本使用料		超過使用料金（1m ³ につき）	
汚水量	使用料	汚水量	使用料
10m ³	500円	10m ³ をこえるもの	110円



【新料金表】基本使用料（基本汚水量10m³まで）+従量料金

コミュニティプラント地区（新中野・明野）は公共下水道地区（中野・光善寺）の料金体制になります

基本使用料		超過使用料金（1m ³ につき）	
汚水量	使用料	汚水量	使用料
10m ³	1430円	10m ³ をこえ40m ³	231円
		40m ³ をこえ100m ³ まで	275円
		100m ³ をこえるもの	308円

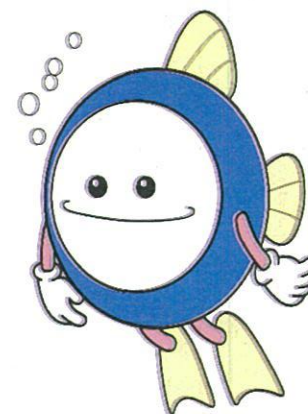
下水道使用料（新料金）の計算方法

2ヶ月43m³使用した場合〔代表世帯の平均使用料〕

【基本使用料】1,430円（10m³）×2ヶ月＋
【超過使用料】231円×23m³＝8,173円
（2ヶ月分）

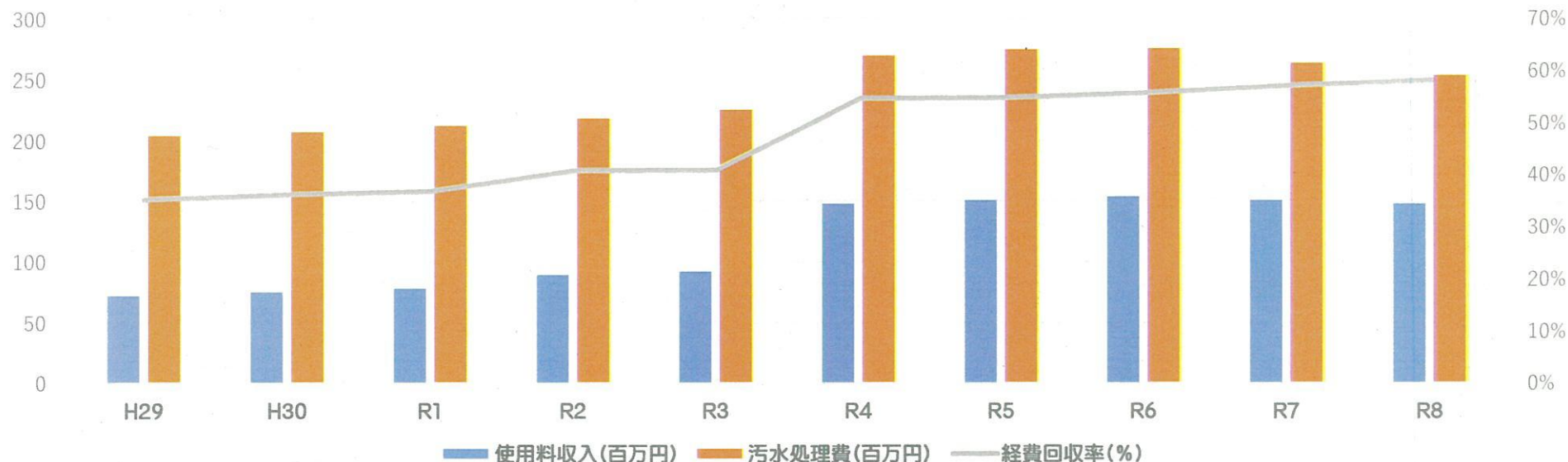
使用水量に段階別の単価を掛けて計算します。
この計算結果に10円未満の端数が出たときは
切り捨てます。上記の場合は、8,170円になります。

まずは、下水道使用料金の改定が必要だね！



解決策 ～公共下水道編入による経費の削減～

下水道使用料と汚水処理費の見通し(公共下水道にコミュニティプラント地区をR4に接続した場合)※H29.H30.R1は実績値

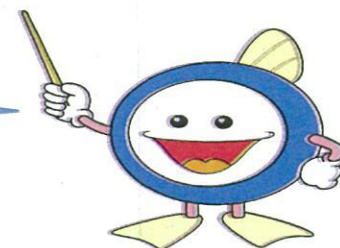


公共下水道へ編入することにより、新中野・明野処理場の管理費が無くなります。公共下水道の処理場は県が管理しており、他市町村と共同で運営しているため効率化が図れ、経費の回収率も上がり下水道事業の健全化が見込まれます。

※汚水処理費とは、汚水処理施設の維持管理費及び建設費返済金等を合算したものです。

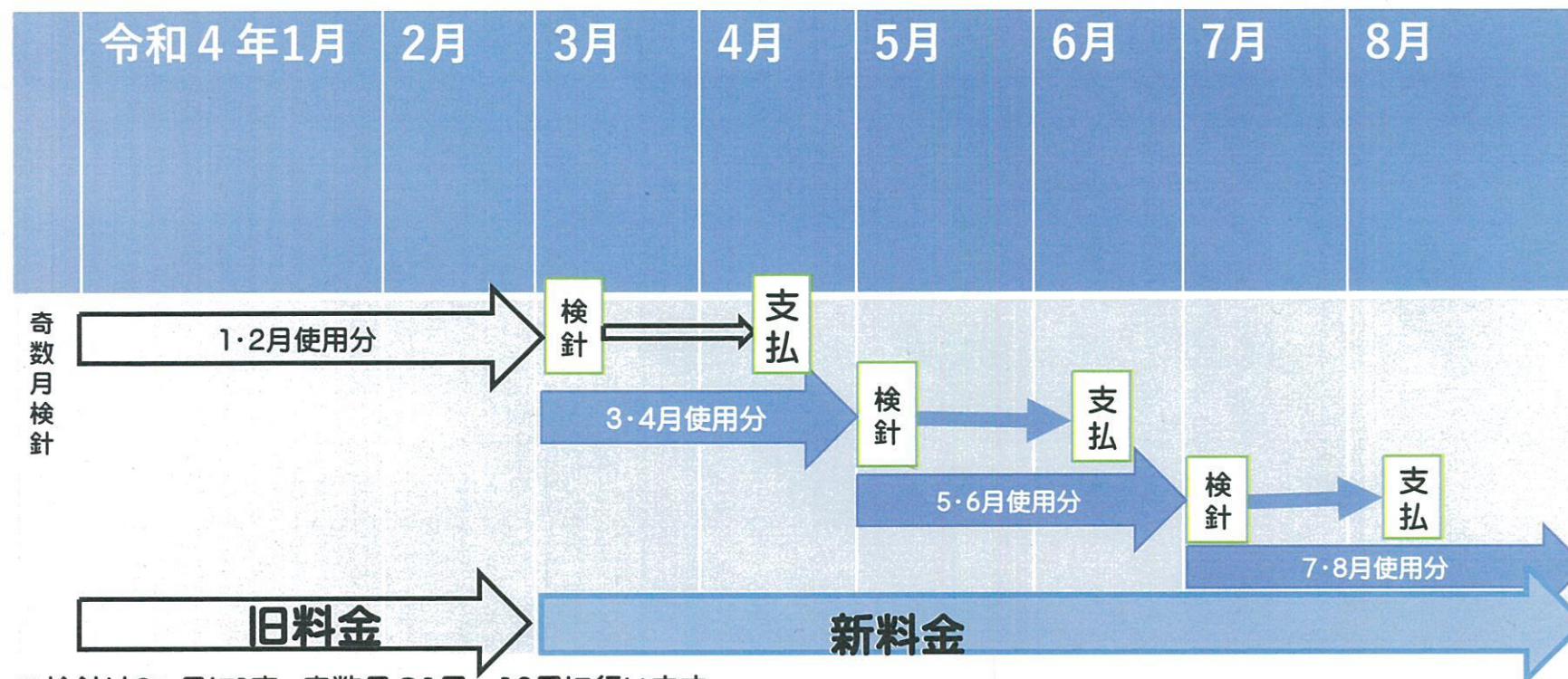
※経費回収率とは、使用料で賄うべき経費(汚水処理費)に対する使用料収入の割合です。100%以下の場合は、使用料以外の収入によりまかなわれていることを意味します。

公共下水道に編入すれば、県が管理している処理場1つになるので経費が削減なるね！



今後について ～下水道使用料改定〔値上げ〕のスケジュール～

新料金適用は、5月検針（3・4月使用分）の5月請求（6月支払）からとなります。



※検針は2ヶ月に1度、奇数月の1日～10日に行います。

平成30年の下水道料金改定の説明会で説明させていただきましたとおり、住民の皆様の負担を少しでも軽減出来るように**段階的な値上げは行わず、令和4年3月に一回で引き上げさせていただきます。**

【例】 1月に20³m使ったと仮定して計算※段階的な引き上げをした場合の値上げ幅は、1月のコンプラ使用料と公共下水道料金の差額の2分の1とした場合

	H31	R2	R3	合計
段階的な引き上げあり	1,600×12 = 19,200	2,670×12 = 32,040	2,670×12 = 32,040	83,280
段階的な引き上げなし	1,600×12 = 19,200	1,600×12 = 19,200	1,600×12 = 19,200	57,600

段階的な引き上げなしの方が・・・

$$83,280 - 57,600 = 25,680$$

25,680円分負担軽減されます

今後について ～公共下水道接続について～

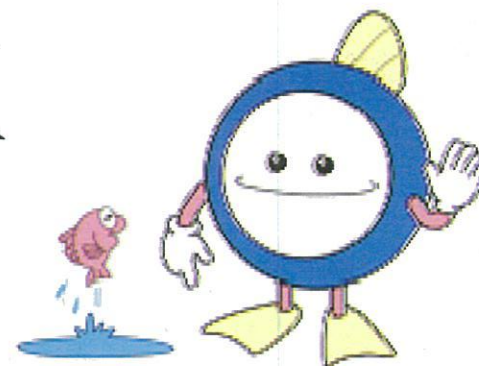
町の方針としては、現在使用している排水設備を生かしたまま、令和4年度(予定)に接続先をコミュニティプラント(新中野処理場・明野浄化センター)から公共下水道に接続します。

邑楽町の公共下水道は千代田町にあります、「西邑楽水質浄化センター」という施設につながっています。この施設は大泉町、千代田町、太田市の一部が使用しています。その「西邑楽水質浄化センター」につなげると、新中野処理場・明野浄化センターの建替え・施設の修繕費用が不要となります。また、事業に対して国からの補助金が受けられるようになり効率良く事業が運営出来ます。現在使用しているコミュニティプラントでは、残念ながら国の補助は受けられません。群馬県としては、邑楽町の下水道処理はコミュニティプラントの廃止、公共下水道への編入となっています。

町としてはコミプラの2つの処理場を維持するのではなく、公共下水道へ編入の準備を進め、下水処理が滞ることの無いようにしていきたいと思っています。

公共下水道について

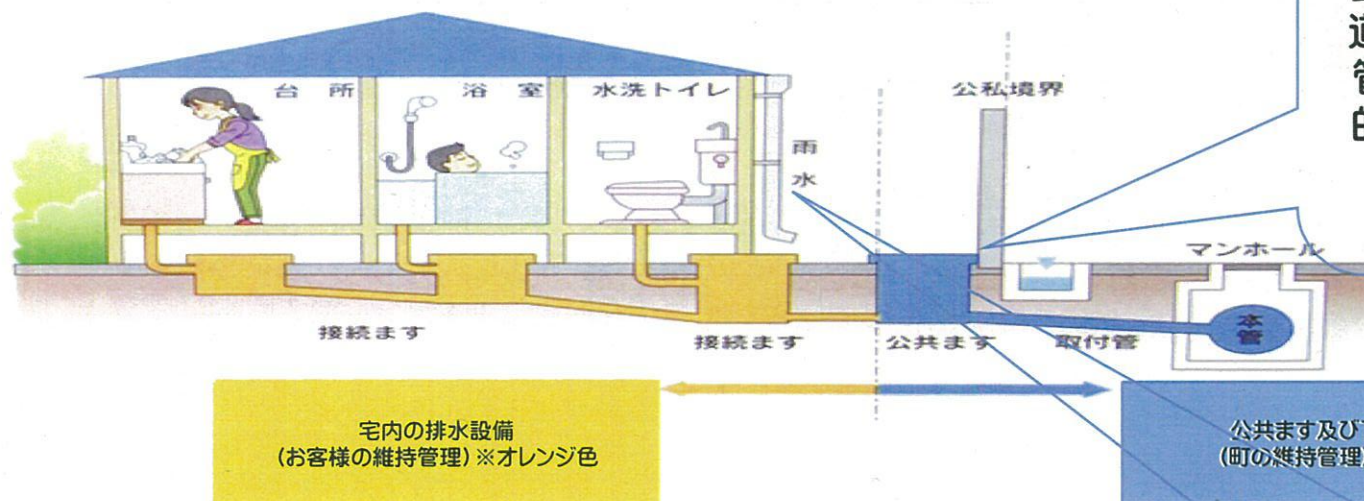
- ・料金が低いというイメージがありますが、コミュニティプラント(新中野処理場・明野浄化センター)の使用を続けても料金は上げざる得ない状況です。
- ・公共下水道に切りかえることで国からの補助が受けられ皆様の負担軽減に繋がります。



下水道事業を安定して次世代に引き継ぐため、下水道使用料金引き上げのご理解をお願い致します

その他・お問い合わせ先

公共ますの取扱いについて



公共ますは、宅内の排水設備を下水道に接続する為に設置された下水道管に、最も近いです。一般的に町のマークがついていて町が維持管理を行います。

快適に下水道をお使いいただくために以下のことに注意してください

- ・公共ますを埋めたり、その上に重い物を置かないでください。
(公共ますが詰まった場合、詰まりをとりづらくなってしまいます。)
- ・公共ますの周りに樹木を植えることは極力避けてください。
(公共ますと樹木の距離が近いと成長した根が、排水管の中に侵入しやすくなり、汚水が流れなくなる原因となります。)

雨水は下水道に流せません。地表又は道路側溝などに接続してください。

公共ますの破損や閉塞があった場合、下水道係にご連絡ください。ただし、公共ますの破損や閉塞の原因がお客様にある場合は、お客様に修繕料を負担していただくことになります。(宅内の排水設備に関しては、お客様の管理となります)

問い合わせ先

邑楽町役場 安全安心課 下水道係

Tel47 - 5037 (直通)

